

地質標本館 第4回地質写真コンテスト 結果について (2)

宮内 渉¹⁾・青木正博¹⁾

第4回地質写真コンテスト(2007年3月開催)において受賞されました作品紹介の2回目です。今回は入選作品7点および特別賞作品1点をご紹介します。作品は口絵257-260頁に掲載しました。写真説明等については第1表のとおりです。なお、地質写真コンテストの概要につ

いては、本誌2012年5月号で報告しておりますので合わせてご覧ください。

MIYAUCHI Wataru and AOKI Masahiro (2012) Result report of the 4th Geological Photograph Contest (2).

(受付:2012年7月23日)

第1表 第4回地質写真コンテスト受賞作品(2).

	氏名	題名	テーマ・カテゴリー	撮影場所	撮影年月日	カメラ名	フィルム名・画素数	写真の説明
入選	伊藤 順一	西アフリカ、マリ共和国の砂金採掘	組写真(調査風景)	西アフリカ、マリ共和国	1992年1月		ネガ	西アフリカ、マリ共和国は9~15世紀アフリカ大陸における一大産金国であった。産金鉱床の大部分は、ラテライト下に伏在する河川堆積物からなる砂金鉱床である。地表から数m間隔で縦穴を掘り(a)、砂金鉱床に到達したところで、横方向に採掘層を広げていく。含金土壌は近傍の河川水を用いてパンニングされる。この採掘方法は、現在も基本的には変わらない。一般に男性が採掘を行い、女性がパンニングを行う(b, c)。採掘規模は集落単位から2-3名のもまで様々である。水確保のため、採掘は雨期に行うことが多い。採掘された砂金は、地方をまわるブローカーによって個人レベルで売られる。買い取り価格は実勢レートに近いものであった。このように採掘された金がどの程度、市場に流れるかどうかは不明である。写真は、マリ南東部の砂金採掘を産業としている集落で撮影したものである。乾季であったため採掘は休止しており、パンニングをお願いした含金土壌も昨年掘り上げた残土を用いた。洗い出された砂金の水分を集落に戻ってから蒸発させているものである(d)。
入選	斎藤 げんじ 元治	噴煙をあげるチリ、ビジャリカ火山	組写真(地質現象)	チリ	2004/11/23	SONY DSC-P8	2048x1536	2004年チリで開催された国際火山学会議参加時にビジャリカ火山にのぼる機会があった。玄武岩質マグマを噴出し、活動中の活火山である。(a)遠景山は美しいが、度重なる噴火を引き起こし危険な火山でもある。(b)登山登山はほとんど雪の上である。山頂近くでは、新鮮な噴出された降下スコリアが雪の上のみにつかた。約5時間の所要時間。(c)噴火多量のSO2を含む火山ガスを放出している。そして、ストロンボリ式の間欠的な噴火活動を目の当たりにすることができた。
入選	井上 なるみ 卓彦	噴砂	地質現象	鳥取県境港市竹内団地	2000/10/7	Olympus CAMEDIA	210万画素	2000年10月6日に発生した鳥取県西部地震で発生した噴砂の噴砂口。噴砂は液状化に伴い発生します。撮影場所は境港市北部の美保湾を埋め立てて造成された埋立地で、広い範囲で液状化が発生しました。この噴砂は、道路アスファルトの継ぎ目から噴出しています。この噴砂で比較的黒く見える部分は水分の多い場所もしくは磁性鉱物が濃集している場所で、噴砂口から出た水の流れがよく分かります。
入選	中澤 努	中国貴州省の石灰岩と鍾乳洞の地質風景	地質現象	中国・貴州省紫雲県東地	2006/4/14	Nikon D200 AiAF28-105mm		中国貴州省には石灰岩がとてつもなく広く分布しています。省都貴陽から一日中車に揺られて紫雲県にたどり着くと、周囲はすべて石灰岩です。石灰岩は、中生代から白亜紀まで形成された。発達した広大な陸棚上で炭酸塩プラットフォームとして形成されました。写真の山々は石炭紀-ペルム紀境界付近の浅海成石灰岩でできています。溶溜モンスーン気候のため雨が多く、石灰岩は溶食され、山は尖っています。溶食されてきた小さな谷にはほぼ狭しと田畑がつけられています。牛や馬が大活躍です。
入選	松浦 浩久	重晶石ホルンフェルスの手標本と重晶石の三連透入双晶の顕微鏡写真	組写真(地質標本)	(a) 京都市左京区如意ヶ岳 (b, c, d) 山口県岩国市端島	2005/7/22 2004/6/3	Panasonic LUMIX DMC-FZ5 Nikon COOLPIX4500	(b) 4MP 3.27MB (c) 4MP 2.34MB (d) 4MP 2.36MB	(a)は京都市東山のホルンフェルスの手標本で、灰色の基地中に六角形のガラスのような重晶石結晶が見える。母岩に埋まっているため、名前通りのスミ色に見えない。(b, c, d)は瀬戸内海にある岩国市端島の重晶石の顕微鏡写真で、(b)は下方ニコルのみ、(c)は直交ニコル、(d)は直交ニコルに顕微鏡検査を入れた状態で写している。重晶石の三個の結晶が一個体になった三連透入双晶をなしている。六弁の花びらが開いたように見える。学生の時に岩石図鑑で(d)の構図の写真を見て、自分もすぐ同様の写真を撮るつもりだったが、実際には何年もかかってやっとこの写真の薄片を1枚得られた(薄片の横幅約3mm)。
入選	徳橋 秀一	対馬の対州層群(9):砂岩が上方に厚層化するプロデルタ~デルタフロントの堆積物	地質現象	長崎県対馬市豊玉(とよたま)町塩崎(しおさき)海岸付近	2006/9/5	SANYO Xacti	4 Mega	対馬中部の豊玉(とよたま)町塩崎(しおさき)付近の海食崖には、砂岩が上方に厚層化する堆積サイクルが観察される。下部の泥岩優勢な砂岩泥岩薄層から上部の砂岩優勢な砂岩泥岩薄層への移行は、プロデルタからデルタフロントへの環境変遷に対応したものと解釈されている。対州層群上部層。ISC 2006 Fukuoka Field Excursion B11の際に撮影。
入選	もぐり 目代 邦康	岩石水河	地質現象	スイス	2005年8月		PROVIA400	岩壁から生産された岩石が、永久凍土の働きによって、年間数cmの速度で移動し、特徴的な形態の地形をつくる。
特別賞	岸本 清行	最近の広域高精度地球DEMなどについて	地質現象	PC	2006年度		ビットマップ画像	スペースシャトルによる地形調査データの処理が進み、より精度の吟味された地形データがNASAやその他の機関から公開されている。同時に、それらを使い海底地形との合成を試みたデータもインターネットで入手可能である。これらのデータを用いて全世界規模の地形がよりリアルな画像として表現することが可能となり、地形・地質の解釈が地球規模で行える環境が整ってきた。今後ともデータ精度や量の向上が進むものと期待される。教材風、パズル風に加工してみた。対象となる範囲が地球規模であり、A4サイズで表現するとデータのもつ本来の意味が表現できないので、あえてポスターサイズで応募した。

1) 産総研 地質標本館